

久重のまちづくり計画



「第2期久重のまちづくり計画」策定に向けて日進月歩！

■第4回策定会議を実施しました！ 事業の具体的な取組方法を検討しました！

12月4日(土)、久重小学校の体育館にて第4回策定会議を開催しました。久重地域からは32名、行政関係者からは8名、計画策定アドバイザーの畠中洋行さんを含めると総勢41名の方にお集まりいただきました。

■グループワークを行いました！

第2回・第3回で出た意見を基に、「①これまでの意見に対する感想」「②具体的な工夫(取組方法)」「③新たな事業」について、グループワークを行いました。

(詳細は、見開きをご参照ください。)

第2回・第3回では、過去5年の取り組みについて振り返りを行い、できたこと・できなかったことを再確認しました。第4回策定会議では、できなかったことなどを「どうすればできるようになるのか」を具体的に考えるとともに、5年間を通して出てきた新たな課題の解決に関する「新たな事業」の検討等を行いました。会議では、活動の具体的な案がたくさん出てきていました！



④ 計画策定アドバイザー 畠中洋行さんからの話

こどもファンドに携わっているこどもたちが計画づくりにも参加してくれており、5年前の計画づくりには無かった視点が出てきていました。こどもからは、スマホの使い方講座を開く、フォトコンテストを開くなど、ソフト面の意見が多く出ており、一方で、大人からは施設の整備などハードの意見が多く出ていたように感じます。こどもたちの参加が計画によりヒントを与えてくれていると思います。

5年前の「久重のまちづくり計画」では、地域の魅力を発見する【再発見プロジェクト】というテーマで事業に取り組んできましたが、次の5年間は今まで見つけてきたものをどう活用していくのかという【再活用】というテーマに変えるなど、ステップアップしていくのもよいのではないかと思います。

次回以降、こどもたちに考えてほしいことがあります。それは、5年後に向けて、いま地域のために自分ができること、そして、大人の皆さんにしてほしいことなどを考えてきてほしいです。



あなたの意見が久重の未来をつくれます！

参加者募集！

「第2期久重のまちづくり計画」の策定会議は、久重に関わりのある方(久重にお住まいの方・久重にお勤めの方・久重が好きな方 等々)ならどなたでも自由にご参加いただけます。連絡先は裏面に記載しております。ぜひ多くの方のご参加をお待ちしております！

～第5回策定会議のご案内～

- ☆内容(予定) : アンケート結果解説(防災編)
- ☆日 時 : 1月22日(土) 18時～
- ☆場 所 : 久重小学校 体育館

第5回策定会議は、**防災**をテーマに行います！



【第5回策定会議の内容について(予定)】

- ・これまでの振り返り(地区防災計画策定会議)
- ・アンケート結果解説(防災編)
- ・グループワーク(防災)



「①これまで出た意見に対する感想 ②これまで出た意見に対する具体的な工夫 ③新たな事業」

第4回策定会議のグループワークで出た意見

	事業名	感想	具体的な工夫	新たな事業	
No. ①ー2 つながり再発見事業	①もたもた旅行アンケート等を用いた行先の決定	<ul style="list-style-type: none"> ・行きたい場所が偏っている ・若者は時間が合わない ・周知の仕方を考える ・もたもた旅行の中身の魅力をもっと発信すべき ・水族館、遊園地に行きたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・もたもた旅行の部会を作る (スタッフの確保) ・もたもた旅行の周知の仕方を変える 		
	②もたもた旅行しおりの作成	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者、若者のニーズが違う ・気軽に参加できる仕組みの構築 ・若者の旅行の企画 	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行の結果を共有することで、周知をする (レポート等) 		
	③もたもた旅行参加者募集と旅行の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・最初に目的を果たし、残りは旅行を楽しむことにする ・若者も参加したくなる内容づくりを行う ・障がい者など、だれでも参加できる旅行にしてほしい ・友人がいないと参加しにくい ・参加者に偏りがあるように感じる ・参加人数が限られている 	<ul style="list-style-type: none"> ・定員を増やすために、運転手の確保が必要 ・希望者が全員参加できるように複数回の実施を検討 		
No. ①ー3 集いの場再発見事業	①持ち寄りカフェやサロンの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが遊べる公園の設置の検討 ・集落活動センターが出来たら、公園 (子ども)、カフェ (高齢者) を実施する ・高齢者と子どもと一緒にできるイベントをしたい ・タケノコを買えるところが欲しい 		<ul style="list-style-type: none"> ・空き地、耕作地を活用して、サロンの実施を行う ・スマホの使い方教室を開く ・子どもファンドで実施したピザやお茶づくりのレシピを教える活動をする ・古民家カフェの実施 ・子どもたちの遊びを高齢者に教える活動をする ・場所がない ⇒公民館で持ち回りをしながら実施する、場所を作る 	
	②生涯学習講座や健康づくり教室などの開催	<ul style="list-style-type: none"> ・地区によっては百歳体操しかしていない ・生きがい (楽しみ) になるなら、もっと増やした方がいいと思う ・ウォーキングが楽しめる道づくり ・場所の確保 		<ul style="list-style-type: none"> ・各地域 (久礼野、重倉) での開催だと人数が限られるため、複数回同じ内容で実施する ・体操だけでなく、ミニゲームなどを交えてはどうか ・アートを取り入れたまちづくりの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単筋トレ教室、DISCO STOP教室の開催 ・相談窓口の設置
No. ①ー4 光の魅力発見編	①夜空の魅力を生かしたイベント事前調査の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・見れる土地がない (寝ころべる場所) 		<ul style="list-style-type: none"> ・PRの方法⇒ホテルニュースの実施 ・夜空物語を作り、連携協会長賞など表彰する ・里山標語コンテストの実施 	
	②夜空の魅力を生かしたイベント 里山ナイトウォーキングや星空・夜景スポットを活かしたイベントの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・せっかく市街地とは違うきれいな星空が見えるからそれを活かしてほしい ・星空、夜景スポットがあり、イベント等を実施していることを知っている人が少ないのでは 		<ul style="list-style-type: none"> ・星空観察会の実施 ・子どもファンドの成果物は地域外への配布は行ってはどうか ・流星群などとホテルを組み合わせるとはどうか 	
	③ホテルの里山づくりのための生息環境整備の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・地域外の人への配慮や地域の人への配慮が心配 		<ul style="list-style-type: none"> ・クラウドファンディングによる資金の調達 ・後継者確保のための勉強会の実施 ・近隣住民への配慮が必要。近隣住民から意見の聞き取りをしてはどうか 	<ul style="list-style-type: none"> ・天文台 (星空科学館) の設立
	④ホテルの生息に配慮した川の草刈りの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・啓発が必要 ・土佐清水と愛媛県で学生が防災小説を書いて地域で発信している 		<ul style="list-style-type: none"> ・地元企業と連携して勉強をする ・有料にしてガイドツアーにする ・保全のためにはどうしたらよいかについての冊子の発行 (周知) ・草刈りを何か所かに分けて実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホテルグッズの販売 ・ホテル物語の発行 (ホテル博士賞)
	⑤ガイド 光の魅力編 地域内外へのPR	<ul style="list-style-type: none"> ・PRすることで久重の魅力が半減しないか心配 ⇒程度の問題 ・ホテルの里という場所をあまり知らない ・地域外の人たちのマナーをどうしていくかを考えないとPRできない 		<ul style="list-style-type: none"> ・フォトコンテストの実施、カレンダーの作成 (写真付き) 	

事業名	感想	具体的な工夫	新たな事業
⑥ホテル観賞や夜景スポットのマップ作り	<ul style="list-style-type: none"> ・ホテルガイドに関して、夜その場で解説するなら時間の問題がある ・ホテルを見に来た人がホテルや地域へ配慮がない⇒ごみ・騒音、ホテルを取るなどの問題が出る 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生などがホテルの正しい見方を解説する「ホテルガイド」⇒QRコードを読み取って解説を開く ・夜空を見ながら星空マラソンの実施 ・夜景をアピールした交流人口の増加や賑わいと景観施策の創出 	
①食材ハイキング	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で継続していく 		
②有用植物などの食材データづくり		<ul style="list-style-type: none"> ・防災活動とセットで学ぶ ・災害時等の食料になる ⇒もっとPRする。山菜・きのこ類でやってみる 	<ul style="list-style-type: none"> ・植物の小冊子（食用を見分けるため）の発行 ・本の発行
③地域食材を活用したメニューによる食事会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策を徹底した上で開催 ・猟師がいないことで食害が増加 ・コロナが終息したら開催したい 		
④男性の料理教室、親子料理教室、ジビエ料理教室等の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・料理だけでなく、モノづくりをみんなでしたい ・場所づくりのためのお金集めになる ・食材の確保、ジビエ料理の活用 ⇒どこかに出店する 		<ul style="list-style-type: none"> ・久重で料友会を立ち上げる 
⑤七草フェスタや山菜ツアー、環境学習会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい人を入れる方法を考える ・みんなで協力してやる体制が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラウドファンディングで募金 ・銭太鼓とのコラボ ・著名人（安藤桃子さん、有川浩さん）に来てもらう ・参加者の限定or地域の人のみにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・秋の七草フェスタを実施してみる ・YouTubeチャンネルの創設 ・TikTok、YouTube配信
⑥レシピの掲載			<ul style="list-style-type: none"> ・レシピ付きで良心市で販売 ・食育としてのレシピの販売 ・良心市を作る（拠点ができるとき） ⇒地域だけの日と一般開放の日を分けては？
⑦食育や地場産品活用の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・四方竹の買い占め ⇒個数制限を設ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・四万十町であったオンラインバスツアーをしては？ ⇒遠くからでも参加できるためいい 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校に菜園を作る⇒作物を給食に提供
⑧食の魅力の地域内外へのPR		<ul style="list-style-type: none"> ・日曜市に出店している人に頼んで、久重の食材をPRしてもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・食材の販売体験会を開催してみる
①花や希少植物をテーマにしたウォークラリーやハイキングイベントの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・「〇〇さん家のお花は見ごろだよ」などをしたい。 ・盗まれる可能性がある、マナーが悪い人がいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示板、回覧板、SNSでPRをする ・休耕田を活用してレンゲ等を植える 	
②四季折々の花道の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ガーデニングの愛好家を増やす ・拠点が欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全に意欲的な企業を誘致する ・種を取る活動を学校でする ・みんなが自分の家の前に同じ花を植える 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区ごとの花壇のコンテストをやってみる⇒豊稗祭で発信（賞品、賞金） ・花の勉強会を開く ・花の交換会を開く（花フェアの開催） ・花が好きな人たちのグループ（花いっぱい会）を作る
③花々（コスモスやレンゲなど）の田んぼへの栽培	<ul style="list-style-type: none"> ・見学者の路駐スペースの確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・花に係るオリジナルQRコードを作る ・休耕田に花植えをする 	<ul style="list-style-type: none"> ・花ハガキを作って売る ・花植えをするイベント開催（地域外の人も） ・コンテスト形式で楽しくできないか
④花の植物の魅力の地域内外へのPR		<ul style="list-style-type: none"> ・久重の花をホームページで紹介する ・多くの人にインスタグラム等で花の写真を上げてもらう ・とさでん交通に花を提供する 	

No. ①ー5 食の魅力発見編

No. ①ー6 花の魅力発見編

計画策定の仲間を紹介します！

質問 ①趣味 ②将来久重がこんなまちになってほしい！

まつもと かおり
松本 樺音里 さん

(久重小学校)

- ①ゲームをすることです。特に、最近流行っている、「あつまれ どうぶつのもり」が好きです！
- ②久重のみんなが楽しく暮らせるまちになってほしいです！



たけばやし ほし
武林 青星 さん

(久重小学校)

- ①お菓子作りが好きです。ガトーショコラやタルトを使ったお菓子を作ります☆
- ②子どもがたくさんいて、明るいまちになってほしいです！



～「防災」の豆知識～

災害に備えて備蓄しよう！

飲料水、食料、トイレ用品は、絶対に備蓄しましょう！

県外から支援が届き始めるのは4日目以降と考えられているため、最低でも3日以上(可能であれば1週間分以上)の備蓄が必要です。水は1人1日3L必要です。

【飲料水】
1人1日3リットル分の水は必要であると言われています。

【食料等】
米
乾麺(カップラーメン、パスタ)
缶詰
レトルト食品
粉ミルク 等



カセットコンロとボンベを多めに備蓄しておけば、米・パスタ・乾麺などの普段食べている食品も、備蓄品になるのじゃ。



ローリングストックという備蓄方法があるよ！

普段から食べている食材を、「備える」「食べる」「補充する」と繰り返す方法のことです。

○備える…日常的に食べているものを少し多めに備蓄する

○食べる…賞味期限が切れないように定期的に食べる

この3つを繰り返すだけでいざという時に備えることができる簡単な方法です！

少し多めにまとめて購入・追加で購入し
備える



食べた分だけ **補充する**



出典：南海トラフ地震に備えちよきp.40
令和2年12月改訂、高知県

■連絡先

高知市地域コミュニティ推進課(担当:巽・石村)
TEL :088-823-9080 FAX :088-824-9794
E-mail : kc-102000@city.kochi.lg.jp

たつみいしむら

■「第2期久重のまちづくり計画」

主体:久重地域連携協議会
久重地域連携協議会の活動は右のQRコードからご覧いただけます。

